

07・【夢その2・性処理係ごっこ】好き好き連呼されながら最高に気持ちいい『手慣れ手マン』される

〈ヘシチュエーション〉

再び主人公の夢の中。主人公と鳴瀬が、保健室でセックスするトラック。トラック06の夜、二人はまたセックスする夢を見ている。

トラック03同様、まるで『現実の別バージョン』という雰囲気である。場所移動はなしで、二人はずっとベッドの上にいる。

プレイ内容は、鳴瀬がリードしながら、主人公の欲望を満たす。

全面的に受け身。『クニククリトリスいじりく指挿入（手マン）の3つのプレイで、それぞれ絶頂する。

〈音声加工あり〉 冒頭に、ノイズのようなものが数秒入る

【『ザザザッ』といった感じの、短いもののイメージ】

このトラックは、途中までわざとトラック05と同じSEを使用したり、トラック05と似た展開、動きをする。

SE1 保健室の環境音

〔最初から最後まで流す〕

〔繰り返して流す〕

〔トラック終了まで流し続ける〕

〔トラック05と同じSE〕

〔トラック05とは開始位置を変えて流す〕

〔0—5秒ほど流してSE2〕

SE2 主人公の足音

〔最初から最後まで流す〕

〔繰り返して流す〕

〔トラック05と同じSE〕

〔0—5秒ほど流して ▲1 で一度ストップする〕

〔▲2 で再開する〕

〔▲3 でストップする〕

▲1 ここで一度SE2がストップする

● 正面 50センチ

■ 主人公の存在に気づいて、呼びかける。

保健室のベッドに腰掛けている状態。

鳴瀬は、これが、夢だとうすうす気づいている。主人公よりも先にこの夢の中に来て、ここが『一見現実に似た世界だが、明らかに現実とは違う世界』であると確認しているで。

だが、主人公もまた同じ夢の世界に来ているとは、まだ思っていない。

『また主人公といちやいちやする夢の中にいるようだ。今回も、思う存分堪能しよう』
と知っている程度

「甘々に、嬉しそうに呼びかける。

『可愛い子Ⅱ主人公』『どちたのⅡどうしたの』『ちゆわんなⅡ座りな』

あゝ♥ 何（なん）か可愛い子来たく♥

何（なに）く？♥ どちたのく♥

ここちゆわんな♥」

〈主人公〉

「あっ♥ あのこと……♥」

▲2 ここで一度SE2が再開する

主人公が近づいてきた事で、距離が近づく。

●正面 30センチ

「優しく続きを促す」

「……んー？」

〈主人公〉

「実はですね、その……♡」

●正面 30センチ

「優しく続きを促す」

「うん」

〈主人公〉

「わたし、授業中もずっと、なる先輩の事考えちゃいました……」

● 正面 30センチ

「優しく続きを促す」

うんうん」

〈主人公〉

「その……会いたくて……」

▲ 3 ここでSE2がストップする

● 正面 30センチ

「優しく続きを促す」

うん♡」

〈主人公〉

「それから……その……♡ えっと……♡」

鳴瀬、近づく。

SE3 鳴瀬が近づく音

【最初から最後まで流す】

【一気に正面へ近づく】

● 正面 0センチ

■ ベッドの前まで来ていた主人公に身体を近づけ、話しかける。

主人公の考えている事を予想して、かつ確信をもって話す

「【にやにやと嬉しそうに。】

『ちてゆ〓してる』『むずむず〓性的欲求が高まる』】

あゝ……。

そうなんだあ……♡

普通に授業ちてゆだけなのに、なるの事考えたらむずむずしちやってゝ♡

えっちしたくなって♡ 来たんだ♡

やらしく……♡」

〈主人公〉

「……♡」

鳴瀬、左耳側に移動して話しかける。

● 左 0センチ

■ ベッドの前まで来ていた主人公に身体を近づけ、にやにやと左耳に話しかける

「あまあま媚び媚びにからかう。」

にやにや嬉しそうに、全く怒っていない、それどころか嬉しくて仕方ないという感じで。

『あんあんⅡセツクス』『してゆⅡしてる』『抜き抜き要員Ⅱ性処理係』

君さあ♡

ほんとなるとあんあんする事しか考えてないな？♡

頭ん中で毎日なるの事犯してさ？♡

なるで一人えっちしてゆんだろ♡

なるの事♡

お願いすればやらせてくれる抜き抜き要員だと思ってんでしょ♡

【きゃっきやと嬉しそうに泣きマネする。

少しも『最低』『酷い』とは思っていない感じで】

さいてく。酷すぎい♡

なる泣いちゃうよおく♡「」

〈主人公〉

「……あつあつ、ごめんなさい！ わたし、そんなつもりじゃ……！
♥」

鳴瀬、主人公が慌てて身を引いた事で、距離が離れ、正面に戻る。

● 正面 15センチ

■ 主人公が身を引き、おろおろと見つめてくるので、それを見上げながら。

嘘泣きを一瞬でやめて、さらっと先ほどの自分の発言を認める

「さらっと。急にウソ泣きをやめてあっさり認める。」

『そう||鳴瀬は主人公がお願いすれば、いくらでもセックスさせてくれる存在である』
……ま♥

そうなんだけどね♥」

鳴瀬、近づいて、再び左耳に話しかける。

● 左 0センチ 無声音ささやき

■ 主人公をからかいたくて、口から出まかせを言いくる。ありもしない、だが、主人公

が食いつきそうな、何処までも主人公に都合のいいルールや設定を述べ始める

「【※マークまでささやく。】

あまあまに、悪戯っぽく。

『むらむらむずむずⅡ性的興奮』『ぬきぬきⅡ性処理』

むらむらむずむずしちやったら♥

先輩にちやくんと相談して♥

ぬきぬきしてもらうのが、この学校のルールだもんね?♥

後輩の性処理は♥先輩の大事な役目だもんね♥」※

〈主人公〉

「……………えっ!♥」

●左 0センチ

■内心少々慌てつつ、さらっと設定を増やす。

『あ、これでは自分が誰とでもセックスする女という事になってしまふ』と気づいたので。

さらに自分と主人公にとって都合のいい設定を足していく

「【さらっと付け加える】

まあ、あたしは君専任だけど♥

【あまあまに】

甘えんぼさんで性欲つよつよちゃんな君がいるから。

するのもしられるのも♥ 君とただけだけど♥

ね〜♥

【※1回※ 左耳にキスする。

軽く触れるだけのキス】

ちゅ♥

〈主人公〉

「……えええ？」

……そ。そんな事って、あり得るんですか……？ 何か、おかしくありませんか？」

鳴瀬、主人公が再び慌てて身を引いた事で、距離が離れ、正面に戻る。

● 正面 15センチ

■ 内心ちよつと驚いて。

主人公が『夢の中の登場人物』らしからぬ、現実的なリアクションをしたので。

まるで本物、現実世界の主人公のような反応なので。

だが、甘々にごまかして押し切る事にする

「【あまあまに。内心『そりゃそうだろう。今考えた事なんだから』と思いつつ、しれっと押し切ろうとする】

ん？ ♡ そんなルール初めて聞いた？ ♡

いいじゃん ♡ そんな事 ♡ どっちでも ♡

鳴瀬、近づいて、再び左耳に話しかける。

●左 0センチ 無声音ささやき

「【※マークまでささやく。】

『夢みたいな事』を若干強調気味に。

あまあまに、少しか意地悪に、心の内を言い当てるような感じで
だって実際、そう聞いて興奮しちゃってるんでしょ……？
そういう『夢みたいな事』アリって思っていない……♡？』※

〈主人公〉

「……っ♡」

鳴瀬、主人公が再び慌てて身を引いた事で、距離が離れ、正面に戻る。

● 正面 50センチ

■ わざと一度離れて、ベッドの中に入るように促す。甘々に誘惑する

「【あまあまに優しく。』それが当たり前で自然」という感じで誘う」

ほら、おいで ♡ ♡ ♡ ぬくぬくちよお？ ♡ ♡

ね？ ♡ ♡

SE4 主人公が靴を脱ぐ音

「最初から最後まで流す」

主人公が、観念して近づいてくる。

● 正面 50〜30センチ

■ 近づいてくる主人公を、受け入れる

「【上機嫌で】

ふふふふ ♡ ♡

SE5 主人公がベッドに入る音

【最初から最後まで流す】

主人公が、ベッドの布団の中へ入る。

● 左 15センチ

■ 布団に入ってきた主人公と、一緒に添い寝し、密着する。
鳴瀬が主人公の左耳側に寝ている

「【※3回※ ゆっくりと呼吸する。

嬉しそうに、満足げに】

はあ、はあ。はああ……♡

【とても満足げに】

はく♡ あったかいね♡

〈主人公〉

「はい……先輩の匂いがします♡ いい匂い……♡」

鳴瀬、少し近づく。

SE 6 鳴瀬が近づく音2

【最初から最後まで流す】

●左 0センチ

「【上機嫌で。」

『ちゆる||する』『同じ奴||同じ香水』『へアケア||へアケア用品』『お揃||お揃い』

んく? ♡ いい匂いちゆる? ♡

えく? ♡ いつもと同じ奴じゃん ♡

てかあたしと君。香水もへアケアも全部お揃（そろ）なんだから。

自分の嗅いでも同じじゃあん ♡

〈主人公〉

「でも……♡」

●左 0センチ

「【上機嫌で。あまあまに】

でも、なるのがいいの？
かわいくね〜♡

SE7 鳴瀬が主人公の髪を撫でる音

【最初から最後まで流す】

【0—1秒ほど流した後、次の『鳴瀬』のセリフと重ねて流す】

●左 0センチ

■頭を撫でながら話している

「【さらに上機嫌で。あまあまに。『何ちに〓何しに』『詳ちく〓詳しく』】

よちよち。よちよち。よちよち♡

…：そしたら♡

ほくら。ちゃんと言お？♡

今日何ちに来たか。もつと詳ちく言お？♡

●左 0センチ 無声音ささやきくキスと耳舐め

【※マークまでささやく。】

にやにやと嬉しそうに、ひそひそと。『腰ふりふり〓性的に興奮』】

だってさあ、何（なん）かも腰ふりふりしちやってるじゃん…♡

※

【※セリフ終わりまで※ 右耳にキスと耳舐めをする。

時々漏れるような笑い声と吐息が混じる】

ちゅ♡ ちゅっ♡ ちゅ♡

ふふふふ……♡

あんむ……れるるるるっ♡ ちゅぶる……ぶちゅっ♡

ちゅっぶ、ちゅっぶ、ちゅばあっ……♡

ふうう……♡

〈主人公〉

「……♡」

●左 0センチ 無声音ささやき

「【※マークまでささやく。甘々に優しく。

『ちてあげゅ♡してあげる』『あんあん♡セックスで気持ちよくなる事』

言えたら、ご褒美に全部ちてあげゅよ？♡

学校なのに一杯あんあんして♡

【わざとらしく媚び媚びに。

『びくん♡性的に気持ちよくなる事の擬音で表現したもの』『できゅ♡できる』

『クリちゃん ㊦クリトリス』『来まちた ㊦来ました』

びくんびくんびくんびくん ♡

って気持ちいいの、いくらでもできゅよ? ♡

ほくら ♡

『なる先輩にクリちゃんシコシコしてもらって、あんあんイかせてもらおう為に来まちた』
って、言え ♡ ※

〈主人公〉

「……なる先輩に…… ♡」

鳴瀬、主人公を正面から見つめるために頭を動かし、少し離れる。

● 正面 15センチ

■ ベッドの中で、二人とも横向きで寝ている状態になって、正面から主人公を見つめる

「満足げに。主人公が自分に従うと確信しているので」

「……ん? ♡」

〈主人公〉

「…………っ…………♡」

● 正面 15センチ

「【満足げに。

今は言いよどんでいるものの、最終的には主人公が自分に従うと確信しているので」
うん」

〈主人公〉

「っ、クリちゃんっ、シコシコっ…………♡ してもらって…………♡」

● 正面 15センチ

「【満足げに。主人公が自分に従うと確信しているので」
うん」

〈主人公〉

「あんあん、イかせてもらうために、きました…………っ♡」

● 正面 15センチ

「ものすごく満足げに、嬉しそうに。『まちたⅡました』」

ふふふふふっ♡

よく言えまちたく♡

【嬉しそうに、甘くからかう。

主人公の事が可愛くて仕方ないという感じで。意地悪さは控えめに。

『ちゆきⅡ好き』『ちゆぐⅡすぐ』『ぼちくⅡ欲しく』『ちよⅡしよ』『ちあわせⅡ幸せ』

…：君はあ♡なるの事がちゆきで、なるでいくのが当たり前になり過ぎて♡

すぐおまんこ切なくなっちやうんだもんね♡

今も♡今ちゆくなるに癒してぼちくなくて♡来たんだもんね♡

いいよ？♡

大好きななるの匂い嗅ぎながらぬきぬきちよ？♡

一杯一杯『いくいくいく』♡つてして、身体ポカポカの、ちあわせ♡になる？♡

【特にあまあまに、からかうように。

下着を脱ぐように促す】

ほらばんっ♡ばんっ脱げ♡

鳴瀬、近づいて、主人公の右耳にささやく。

SE8 鳴瀬が近づく音3

【最初から最後まで流す】

【右耳側に近づく】

●右 0センチ 無声音ささやき

「【※マークまでささやく。】

ひそひそと、嬉しそうに甘くからかう】

やられたい時はあ。自分から脱ぎ脱ぎしておねだりするのが常識でしょ？
ね？♥※

〈主人公〉

「……………っ♥」

SE9 主人公が下着を脱ぐ音

【最初から最後まで流す】

【0—3秒ほど流してSE10と重ねて流す】

SE10 主人公の股間の水音

【最初から最後まで流す】

【SE9と重ねて流す】

【ごく小さな音量で流す】

主人公、鳴瀬の言葉に従って、ベッドの中で下着を脱ぐ。

その結果、少し離れる。

制服は着たままで、ショーツだけ脱いでいる状態。

● 正面 30センチ

■ ベッドの中で、二人とも横向きに寝て、主人公が布団の中でもぞもぞ下着を脱ぐのを見ている。脱ぐ際に、愛液がぐちゅつと鳴ったのを聞き逃さない。

にやにや余裕ふりつつも、実際はものすごく興奮している。

早く主人公を『ぬきぬき』しあげたくてしょうがない

「【※5回※】 呼吸し、満足げに笑みを漏らす。

興奮気味の呼吸】

はあ、はあ、はあ……。

はあ、はあ……ふふ♥ ちゃんと脱げたね♥

【にやにやと嬉しそうに指摘する。】

『ぐちゅって音Ⅱ布が擦れる時に鳴った、ぐちゅつ、と湿った、愛液と思われる音』
わく……♡ 凄い♡ 脱ぐ時、ぐちゅって音したね♡」

〈主人公〉

「……せんばあ……♡」

●正面 30センチ 無声音ささやき

■正面の位置のまま優しくささやく

「【※マークまでささやく。

とても優しく。からかう時と優しくする時のトーンのギャップで、ドキドキさせる感じ
で】

……とろとろで気持ち悪かったでしょ。

ちゃんと言えたえりやい子には♡

これからたっぷりクリいじりしてあげゆからね♡」※

鳴瀬、近づいて、主人公の股間に手を触れる。

SE11 鳴瀬がベッドで動く音

【最初から最後まで流す】

【次の『鳴瀬』のセリフと重ねて流す】

● 正面 15センチ

■ 横向きに寝たまま、主人公の股間を愛撫する。

だが、『この状態だと、少々触りにくいな』と思っている。

また、余裕ぶっているが、ものすごく興奮している

「【※6回※ 呼吸する。

少し興奮気味に】

はあ、はあ、はあ。

はーっ、はーっ、ふー………♥」

SE12 鳴瀬が主人公の股間を愛撫する音

【最初から最後まで流す】

【繰り返して流す】

【小さめの音量で流す】

【次の『鳴瀬』のセリフと重ねて流す】

【▲4 で一段階音量と速度が大きく、早くなる】

〔▲5 で一度フェードアウトする〕

〔▲6 で再開する〕

〔▲7 で、赤文字のセリフと同時に一瞬だけ音が大きくなり、その後戻る〕

〔▲8 でさらに一段階音量と速度が大きく、早くなる〕

〔▲9 でさらに速度だけが早くなる〕

〔▲10 でフェードアウトする〕

●正面 15センチ

〔「ドキドキと興奮気味に、嬉しそうに〕

……あ……♡ 凄……♡ ぬるぬるだね♡〕

鳴瀬、近づいてキスする。

●正面 0センチ

■顔を近づけてキスする

〔「※1回※ 唇にキスする。軽く触れるだけのキス〕

ちゅ♡

〔あまあまに。『ちゅちながら||ちゅー(キス)しながら』

うん♥　ちゆちながらちよ？♥

【※しばらく※　唇にキスする。

軽いキスから、段々濃厚になっていくキス。

最後に音を立てて離す】

んんふ……ちゆぱっ♥　んんう……ちゆるっ♥

ちゆ♥　ちゆ♥　れるお……ぶちゆっ♥

【※息を吐いてから※　ふと思いついたように。

『抜くⅡ男性が、射精を伴って、性的欲求を発散する事』

……何（なん）かさく♥

あたし♥

女の子も一人で気持ちくなる時は『抜く』でいいと思うんだよね……♥」

鳴瀬、移動する。横向きから主人公に覆いかぶさる体勢に変わる。

それから、左耳にささやきかける。

●左　0センチ　無声音ささやき

■主人公を仰向けに寝かせ、覆いかぶさった状態でクリトリスの愛撫を始める。
頭は左耳側に置いてささやく

「※マークまでささやく。

甘々に、興奮気味に嬉しそうに。

意味は『女性も、絶頂した後は愛液のようなものがどろどろと一気に溢れてくる。その後は疲れてしまって、股間を濡らした状態でぐったりしてしまっただろう』

…だって、イツたら、どろろってぬるぬる沢山出てくるでしょ？

溜まってた性欲溢れるみたいに

お股てるてるに濡らして

くたくって疲れちゃうもんね

【※1回※ 耳にキスする。軽く触れるだけのキス】

ちゅ

【あまあまに、嬉しそうに。『ちようししよう』】

気持ちよくなって君、世界一可愛いよ

だから今日もぬきぬき、ちようね

【※1回※ 耳にキスする。軽く触れるだけのキス】

ちゅ

● 左 0センチ

■ 愛撫しやすい姿勢になった事で、先ほどより余裕がある。

ゆっくりと、丹念に主人公のクリトリスを維持って気持ちよくする

【※6回※ 呼吸する。うっとり、興奮気味の呼吸】

はあ、はあ、はー……♡

はあ、はあ。ふー……♡

▲4 ここでSE12の音量と速度が一段階大きく、早くなる

●左 0センチ

「嬉しそうに、興奮気味に。さすりながら話しているイメージで。

『ここクリトリスの中でも、主人公が特に感じる部分』『いい♡気持ちいい』『定番♡いつもしている触り方』

あー……♡ ここだよね……♡

ここを♡ この早さですりすりするのが♡

君の定番だよね♡

はあ……めっちゃ顔可愛い……

【※1回※ 耳にキスする。軽く触れるだけのキス】

ちゅ♡

【あまあまにからかう】

何。なるのお手手そんないいか♡
可愛いね♡

【※1回※】 耳にキスする。軽く触れるだけのキス
ちゅ♡

【※3回※】 呼吸したあと、微笑む。
ゆっくりと、満足げに】

ふう、ふう、ふう……ふふ……♡
【あまあまに、嬉しそうに】

音すっごいよ。気持ちいんだね♡
【さらに気持ちいい場所を見つけて】

……あ……♡ これ好きでしょ……♡
【※6回※】 呼吸する。

少し興奮気味に】
はあ、はあ、はあ。

はあ、はあ、はああ……っ♡
「

〈主人公〉

「……あっ♡ ……あああ……っ♡
「

▲5 ここでSE12が一度フェードアウトする

鳴瀬、移動して、主人公の顔を見下ろす。

●正面 30〜0センチ

■一度離れた主人公の感じている顔を見下ろした後、顔を近づけてキスする

「あまあまに、嬉しそうに」

ふふ、やっぱり♥ その顔エロすぎ……♥

【※5回※ キスする。

甘々なキス。一気に近づいてキスする】

ん……♥ ちゅ♥ ちゅ♥ ちゅ♥ ちゅ♥ ちゅ♥

鳴瀬、少しだけ離れる。

●正面 0〜15センチ

■一度離れたあと、主人公の身体を優しく撫でながら、クリトリスへの愛撫を続ける

「満足げに息を吐いた後、漏れるように嬉しそうに笑う。『なりゆ』なる」

ふー……♡

ふふ……♡ ふふふふ♡

よしよし、よしよし♡

気持ちくなりゆんだぞ……♡

▲6 ここでSE12が再開する

●正面 0〜15センチ

「※6回※ 呼吸する。

かなりゆっくりだが、興奮気味の呼吸」

はー……はー……はー……♡

はあ、はあ、はあ……♡

「※しばらく※ 耳にキスと耳舐めをする。

甘やかすような、いちやいちやあまあまな感じで」

んっふ……ちゅ♡ ちゅっぶ、れるる、れるおっ♡

「不意打ちでたずねる。

どきつとするほど優しく。

※特に聞き手をドキツとさせるイメージでお願いします」

……中に欲しくなっちゃった？」

〈主人公〉

「……………」

主人公、黙って恥ずかしそうに頷く。
鳴瀬、移動して、主人公の間近で話す。

● 正面 15〜0センチ

■ 主人公に挿入をおねだりされて、応じる。幸福感と征服感で一杯。

「【とても優しく】

いいよ……………もつと気持ちくなる♡

【※5回※ 呼吸する。ものすごくゆっくりだが、興奮気味の呼吸。
赤太文字で指を主人公の膣に挿入する】

はああ……………ふう……………♡ はああ……………ふーっ……………♡

▲ 7 ここで、赤文字のセリフと同時に一瞬だけ音が大きくなり、その後元の音量に戻る

●正面 0〜15センチ

「んっ……♡」

〈主人公〉

「……あ……!♡」

●正面 15〜0センチ

■主人公の膣に指を挿入したところ。とにかく幸せ、最高の気分を満たされている
「とても優しく。でも、ちよつとセクシーに、満足げに。」

『学校ハメⅡ学校での、指の挿入を伴うセックス』

あ……ふふ♡ 入ったよ……♡

学校ハメ、しちゃったね♡

はあ……可愛い♡」

●正面 0センチ 無声音ささやき

■正面の位置のままささやく

「【※マークまでささやく。】

とても優しく、でもちよつとセクシーに、満足げに。」

意味は『主人公の膈内が、自分の指をぎゅっと締め付けて反応してきた』
今ね？ すっごい、中ぎゅーって反応した♡
……一杯してあげるからね♡」※

鳴瀬、少しだけ離れる。

● 正面 15センチ

■ 主人公の膈に指を出し入れする『手マン』をする。

ゆっくり目に優しく、主人公が安定して気持ちよくなれるペースで出し入れしている
「※10回※ 呼吸する。」

ゆっくり目の、切なげな、興奮気味の呼吸」

んっ……はあ、はあ、はあ……♡

はっ……は♡ はっ……はあ♡ はっ。はあ……♡

【興奮気味に、うっとり。指を出し入れしながら話しているイメージで。

少しゆっくり目に。『出しっ……♡ 入れ||出し入れ』
すっご♡

君の中♡ あたしの指、一生懸命啞えてる……♡

可愛くぬぼぬぼ音出して♡ 頑張ってしゃぶってるね♡

ほら♥ 出しっ……♥ 入れの度に。

こくんになっ、とろとろに濡らして♥

きつきつに締め付けながら音立ててるの、すっごいえっちだよ？♥

ほら♥「

▲8 ここでSE12の音量がさらに一段階音量と速度が大きく、早くなる

SE13 鳴瀬がベッドで動く音2

【最初から最後まで流す】

鳴瀬、近づく。

●正面 0センチ 無声音ささやき

■正面の位置のままささやく。

主人公の膺が今どうなっているかを、嬉しそうに、興奮気味に伝える

「【※マークまでささやく。

優しく嬉しそうに、だが興奮気味に。『気持ちいい||気持ちいい』】

君の中ね？♥ めっちゃ締め付けてちゅぽちゅぽ甘えて♥

『気持ちい事以外考えられない』って感じになってるよ?♡」※

● 正面 0センチ

■主人公が絶頂に近づく。動きが少し早くなり、喘ぎや呼吸も早くなる。

主人公が可愛くてたまらず、ますます興奮してくる

「うっとり興奮気味に。主人公への愛情が抑えきれないという感じで。

『あんあんちて!!たくさん喘いで』『お指生ハメちゅこちゅこ!!指を直接挿入する出し入れで』『ちあわせ!!幸せ』。

※この辺りから、主人公の絶頂が近づいており、よりサポートしようとしているのがわかりやすくなっていく感じでお願ひします」

はあ……可愛い……♡

何(なん)でこんな可愛い……?♡

顔も、声も。中も、全部可愛くて、やばいんだけど……♡

はあ可愛い……♡ 大好きだよ♡」

▲9 ここでSE12が、さらに速度だけ早くなる

● 正面 0センチ

「愛してるよ。好き。好き。好き♡

一生ずっと抜いてあげる。一生えっちして、一生満足させる♡

だから一生。あたしでいくんだよ♡

なるで今日もあんあんちてイこうね♡

よしよし、よしよし、よしよし♡

お指生ハメちゅこちゅこでちあわせになろうね♡

あたしでイッて？

一生♡ あたしの事だけを♡エロい対象にして？♡

〈主人公〉

「しますっ♡ 一生なる先輩だけ……♡ なる先輩だけでします♡」

● 正面 0センチ

「【心から満足げに、嬉しそうに】

ふふふふふ……♡ やったあ♡」

鳴瀬、右耳にささやく。

●右 0センチ 無声音ささやき

■主人公が絶頂しそう／絶頂する。

優しくあまあまにサポートしようとするが、主人公がふいに絶頂したので、少し驚く

「【※マークまでささやく。あまあまに優しく。」

次で主人公が絶頂する」

ほら♥ いいよ?♥

いきそうなんでしょ?

イクけっ♥ イクけっ♥ イクけっ♥ イクけえ♥

【※赤の太字部分で絶頂する※

※ささやきが『※』のところでは途切れる。

もう一回『イクけっ』と言おうとした途中で主人公が絶頂する。

少し驚き、でも興奮した感じで」

イク…… ※

あ……!♥

▲10 ここでSE12がフェードアウトする

SE14 鳴瀬がベッドで動く音3

【最初から最後まで流す】

〈主人公〉

「ああああっ……！❤❤」

鳴瀬、主人公とキスするために、顔を向かい合わせる。

● 正面 0センチ

■ 主人公に自分から熱心にデ IPPキスして可愛がる

「【※4回※】唇にキスする。甘々なデ IPPキス」

ちゅっ……ちゅっ……❤ くちゅるうっ……ちゅ❤

【※4回※】呼吸した後に満足げに笑う。

興奮気味の呼吸が、だんだんゆっくりになる】

はあ、はあ。はあ、はあふう……❤

ふふふふ❤

〈主人公〉

「……❤❤」

鳴瀬、主人公の膾内から指をそつと引き抜く。
それから、自分の顔の前まで持ってきて、主人公に見せつける。
その結果、少し離れる。

● 正面 30センチ

■ 主人公に、主人公の愛液まみれの指を見せつけ、その指をくわえ、しゃふる
「嬉しくてたまらないという感じで。

『どろどろ』主人公の愛液まみれになった、自分の指へのコメント』
見てえく？ ♡ どろどろく…… ♡

【※自分の指をくわえて、軽くしゃふる※】

見せつけるように音を立ててセクシーに。『おつゆ』愛液』

んふっ ♡ ちゅぽお……れるおっ ♡

君のイきたておつゆ ♡ しょっぱ ♡

あんむ…… ♡

〈主人公〉

「……………っ ♡」

鳴瀬、少し近づく。

● 正面 15センチ

■ にやにやと嬉しそうに。

自分が指をしゃぶるさまを見て、主人公があからさまに興奮しているので

「【あまあまに、嬉しそうにからかう。

『したくなっちゃった〓セツクスしたくなっちゃった』

えく？ ♡

なるのおしゃぶり顔（がお）見てたら、もっとしたくなっちゃったのく？ ♡

【甘ったるく煽るような感じで。

『ああん？ ♡』や『おらあ ♡』のようなニュアンスで

んく？ ♡

〈主人公〉

「……………でも……………♡」

● 正面 15センチ

「優しく、ちょっと不思議そうに続きを促す」
でも？」

〈主人公〉

「……眠くなって、きちやいました……♡」

●正面 15センチ

「【思わず笑ってしまう感じで、あまあまに。

『ねみゆいⅡ眠い』』

でもねみゆいのか♡ 可愛いなあ♡

……ちよつと休みな♡」

SE15 鳴瀬が主人公の背中を『ぽん、ぽん』と叩く音

【最初から最後まで流す】

鳴瀬、主人公の右耳側に寝そべると、右耳にささやく。

●右 0センチ 無声音ささやく

■主人公の右耳側に戻って、優しくささやく

「※マークまでささやく。

とても優しく、寝かしつけるように。『ちよく||しよう』

またぬきぬきハメハメ、ちよくね……♡」※

ここでフェードアウトして終了。